

平成23年度の決算状況

平成23年度の琴浦町の一般会計と特別会計、水道事業会計の決算状況、基金、町債の状況をお知らせします。

平成23年度は大規模な建設工事を多く実施しました。そのほかにも住宅リフォーム助成事業、福祉事務所設置準備などソフト事業も実施し、さまざまな分野で住民生活の充実を図りました。

【一般会計】

歳入総額
116億3,483万円

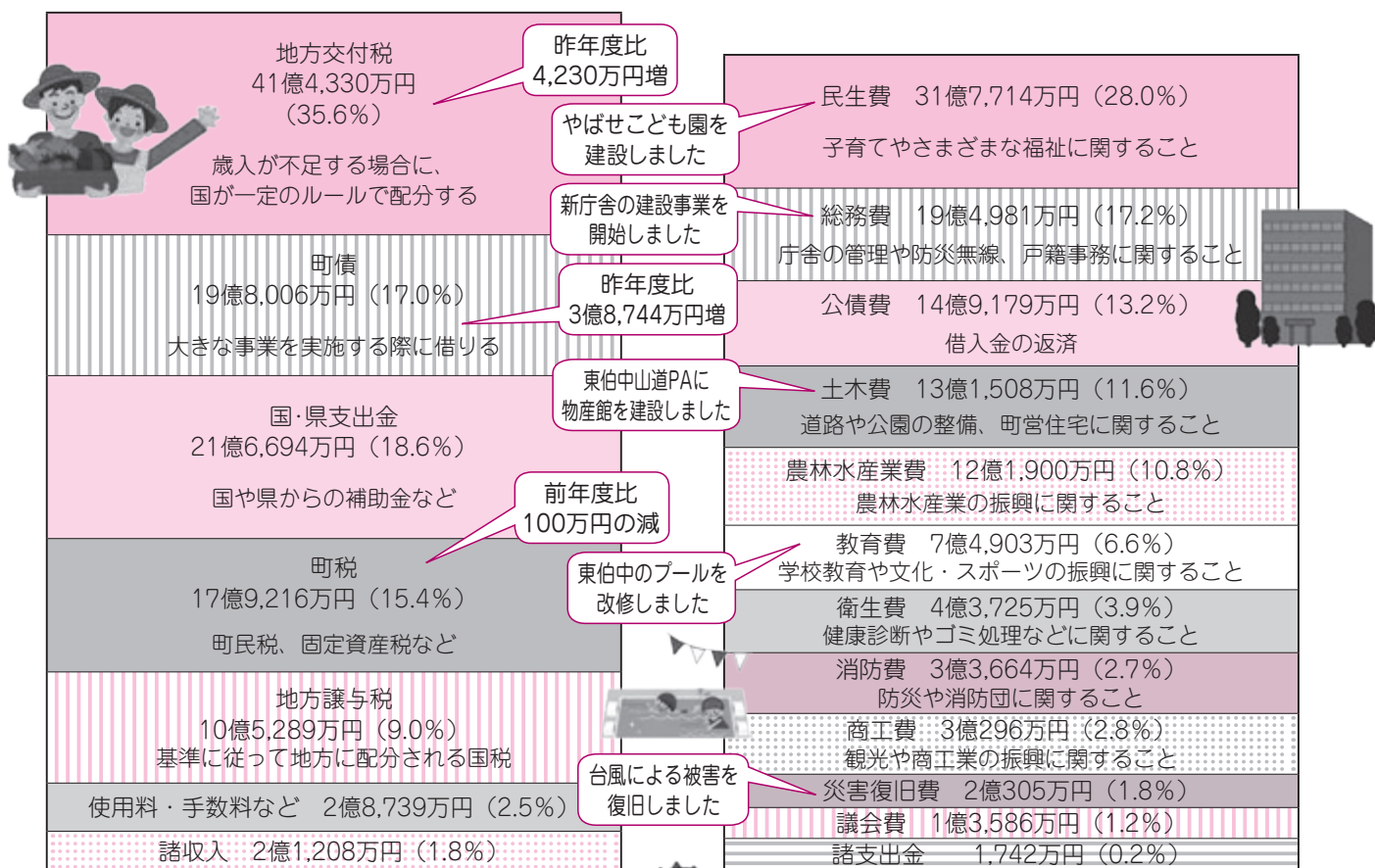
(昨年度比10億9,817万円増)



歳出総額

113億3,500万円

(昨年度比10億9,920万円増)



【水道事業会計】

水道事業損益計算書

勘定科目	借方	勘定科目	貸方
水道事業費用	2億1,752万円	水道事業収益	2億5,763万円
営業費用	1億7,226万円	営業収益	2億5,654万円
営業外費用	4,513万円	営業外収益	109万円
特別損失	13万円		
当年度純利益	4,011万円		
計	2億5,763万円	計	2億5,763万円

水道事業貸借対照表

勘定科目	借方	勘定科目	貸方
固定資産	36億7,983万円	流動負債	2,330万円
流動資産	3億7,717万円	資本金	25億5,358万円
		剰余金	14億8,012万円
計	40億5,700万円	計	40億5,700万円

【特別会計】

平成23年度 特別会計歳入歳出決算額

区 分	歳 入		歳 出	
	決 算 額	前年度比	決 算 額	前年度比
国 民 健 康 保 険	24億2,326万円	3.3%	23億3,897万円	1.2%
住宅新築等資金貸付	1,611万円	△125.5%	7,308万円	△26.8%
農 業 集 落 排 水	2億6,163万円	△5.1%	2億5,874万円	△4.9%
下 水 道	9億7,175万円	△11.1%	9億5,133万円	△33.2%
介護保険（事業勘定）	21億5,019万円	0.4%	21億2,898万円	1.0%
後 期 高 齢 者 医 療	1億9,195万円	△0.4%	1億9,157万円	△0.6%
八 橋 財 産 区	2万円	0.0%	2万円	皆増
浦 安 財 産 区	1万円	0.0%	1万円	皆増
下 郷 財 産 区	0.018万円	0.0%	0万円	0.0%
上 郷 財 産 区	0万円	0.0%	0万円	0.0%
古 布 庄 財 産 区	0.037万円	0.0%	0万円	0.0%
赤 碕 財 産 区	2,118万円	△0.9%	79万円	8.8%
成 美 財 産 区	311万円	△5.1%	22万円	9.1%
安 田 財 産 区	1,173万円	△3.2%	104万円	22.1%

【町債】

平成23年度末借入額現在高

区 分	借入額残高
公 共 事 業 等 債	9億7,858万円
一 般 単 独 債	62億1,977万円
公 営 住 宅 債	11億4,803万円
義 務 教 育 施 設 債	16億1,534万円
辺 地 対 策 債	1億6,722万円
災 害 復 旧 債	9,585万円
減 税 補 て ん 債	2億2,727万円
臨 時 財 政 対 策 債	37億2,601万円
そ の 他	11億375万円
計	152億8,182万円 (7億1,110万円増)

町債：
町が事業を行うために
借り入れるお金



基金：
町が特定の事業を
行うために積み立て
ているお金



【基金の状況】

平成23年度末基金残高

区 分	基金残高
財政調整積立基金	8億1,580万円
減債基金	1億2,333万円
地域活性化基金	4,381万円
公共施設等建設基金	8億5,372万円
図書館図書購入基金	202万円
赤碕中学校区小学校図書購入基金	671万円
東伯小学校門脇教育図書購入基金	750万円
赤碕中学校図書購入基金	220万円
林原育英奨学基金	1,140万円
平岩教育・福祉振興基金	391万円
船上山万本桜公園整備基金	460万円
地域福祉基金	1,043万円
国民健康保険財政調整基金	150万円
農村多元情報連絡施設等基金	1,362万円
農業集落排水事業推進基金	1,400万円
肉用牛特別導入事業基金	401万円
土地開発基金	1億9,144万円
道の駅ポート赤碕運営基金	14万円
下水道事業推進基金	5,487万円
下水道事業便所等改造資金貸付基金	1,798万円
きらりタウン赤碕定住促進基金	855万円
地域振興基金	11億8,830万円
森林保全管理基金	160万円
ふるさと未来夢基金	289万円
地域雇用創出推進基金	1億6,935万円
コーポラスことうら基金	3,605万円
高等特別支援学校開校を契機とした人権のまちづくり基金	253万円
歴史民俗資料館職員雇用基金	170万円
物産館ことうら運営基金	219万円

平成23年度決算からみる琴浦町の財政状況

平成19年度から地方公共団体の健全化に係る各指数の議会への報告及び公表が義務付けられています。本町における各指数と基準は次のとおりです。

平成23年度の決算では、全ての指標が危険とされる各基準値を超えてはいませんが、引き続き安定した財政運営に向けた取り組みが必要です。

財政健全化に係る各指標と基準

指標名		指標名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
基準名							
平成22年度琴浦町比率			赤字額無し	赤字額無し	16.4	160.5	不足額無し
平成23年度琴浦町比率			赤字額無し	赤字額無し	15.3	159.9	不足額無し
比較 基準	早期健全化基準		14.30	19.30	25.0	350.0	20.0
	財政健全化基準		20.00	30.00	35.0	基準無し	基準無し
町 目 標 基 準			赤字額無し	赤字額無し	18.0	300.0	不足額無し

▼各指標の説明

①実質赤字比率

普通会計（一般会計と住宅新築資金等貸付事業特別会計）の実質赤字額が標準財政規模（地方公共団体が自由に使える財源の標準的な規模。本町では63億3千996万円）に占める赤字割合（数値が高いほど財政状況が悪い）

②連結実質赤字比率

全会計（本町の場合は、普通会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、農業集落排水特別事業会計、下水道事業特別会計、介護保険会計、水道事業会計）の実質赤字額が標準財政規模に占める割合（数値が高いほど財政状況が悪い）

③実質公債費比率

普通会計が負担する公債費（町の借金）が標準財政規模に占める割合（数値が高いほど財政運営が悪い）平成23年度は前年度に比べ0.9ポイント数値が向上した。これは、上水道、下水道会計への繰出金の減少と、中部広域連合への負担金支出の減少が主な理由である。

④将来負担比率

普通会計が将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合（数値が高いほど財政状況が苦しい）平成23年度は、前年度に比べ0.6ポイント数値が向上した。これは、債務負担行為などの将来負担額を繰上償還等により減少させたため。

⑤実質公債費比率

各公営企業会計（本町の場合、水道事業会計、農業集落排水事業会計、下水道事業特別会計）の資金不足額が、その会計の事業規模に占める割合（数値が高いほど財政状況が悪い）

▼各基準の説明

①早期健全化基準（公営企業の場合は資金不足率での経営化基準）

いわゆる財政状況のイエローカード基準であり、各指数のひとつでもこの基準を超えると「早期健全化団体」となり、悪化した財政を早期に改善し、健全化にむけて計画を策定して取り組まなければなりません。

②財政再生基準

いわゆるレッドカード基準であり、早期健全化段階よりさらに財政が悪化した状態（財政再生団体）で、事務事業の見直し、組織の合理化、全体的な歳出の削減等はもちろんのこと、地方税や使用料などの値上げなど財政再建計画を策定し取り組まなければなりません。

財政健全化の取り組み状況

依然として、景気の低迷が続く状況下でこの地方自治体も財政運営は非常に厳しくなっています。琴浦町においても、職員削減、町議会議員・農業委員会委員の定数削減、議員・職員の給与カットなど歳出削減に取り組んできました。また、金利の高い借金及び、土地改良区への負担金などの繰上げ返済に努め将来の負担に対する軽減も図っています。

今後は、地方交付税の一本算定替方式の導入による歳入減が見込まれる中、無駄のない行政運営を行うとともに、税源移譲、財源配分などの問題提起を県及び国と協議することも重要な課題となります。